

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】令和5年7月11日(2023.7.11)

【国際公開番号】WO2023/013691

【出願番号】特願2022-550201(P2022-550201)

【国際特許分類】

*D 0 6 M 1 5 / 3 9 ( 2 0 0 6 . 0 1 )*

*D 0 6 M 1 3 / 3 9 5 ( 2 0 0 6 . 0 1 )*

*D 0 6 M 1 3 / 2 2 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )*

*D 0 6 M 1 3 / 2 5 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )*

*D 0 6 M 1 3 / 2 6 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )*

*D 0 6 M 1 3 / 2 9 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )*

10

【F I】

D 0 6 M 1 5 / 3 9

D 0 6 M 1 3 / 3 9 5

D 0 6 M 1 3 / 2 2 4

D 0 6 M 1 3 / 2 5 6

D 0 6 M 1 3 / 2 6 2

D 0 6 M 1 3 / 2 9 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月22日(2022.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

繊維に窒素を含有するポリマーとアニオン界面活性剤とを接触させること、  
を含む、抗菌・抗ウイルス性繊維製品の製造方法。

30

【請求項2】

前記ポリマーが、グリオキザール化合物、イソシアネート化合物及びメラミン化合物からなる群より選択される少なくとも1種の化合物である、

請求項1に記載の製造方法。

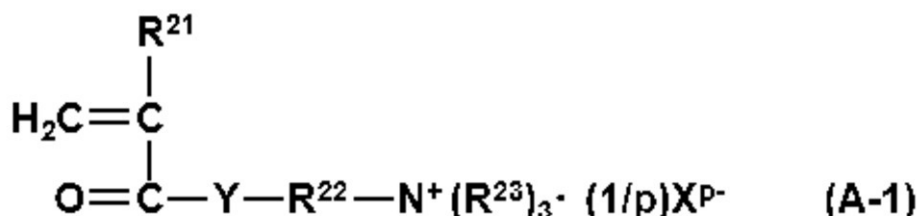
【請求項3】

前記ポリマーが、下記一般式(A-1)~(C-2)の少なくとも1種に由来する構成単位を備えるポリマー、ポリアルキレンポリアミン又はその酸塩とジシアンジアミドとの反応縮合物、及び、下記一般式(D)で示されるポリマー、からなる群より選択される少なくとも1種である、

40

請求項1に記載の製造方法。

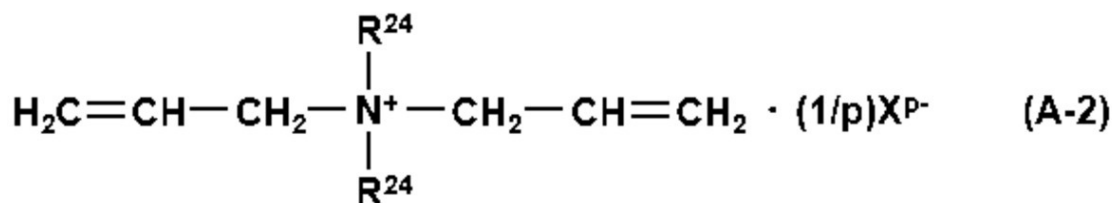
【化1】



50

(式中、 $R^{21}$  は水素原子又はメチル基を表し、 $R^{22}$  は炭素数 1 ~ 4 のアルキレン基又はヒドロキシアルキレン基を表し、 $R^{23}$  は同一であっても相異なってもよく、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはヒドロキシアルキル基又は炭素数 2 ~ 4 のアルケニル基若しくはヒドロキシアルケニル基を表し、 $-Y-$  は  $-O-$  又は  $-N(H)-$  を表し、 $X^{p-}$  は  $p$  価のアニオンを表し、 $p$  は任意の自然数である。)

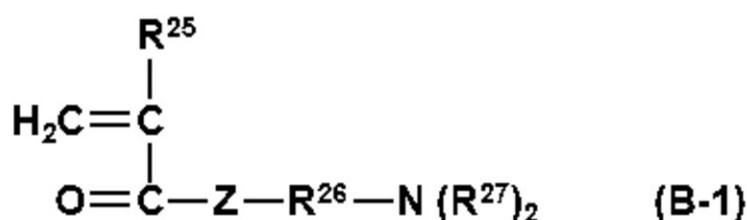
【化 2】



10

(式中、 $R^{24}$  は同一であっても相異なってもよく、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはヒドロキシアルキル基又は炭素数 2 ~ 4 のアルケニル基若しくはヒドロキシアルケニル基を表し、 $X^{p-}$  は  $p$  価のアニオンを表し、 $p$  は任意の自然数である。)

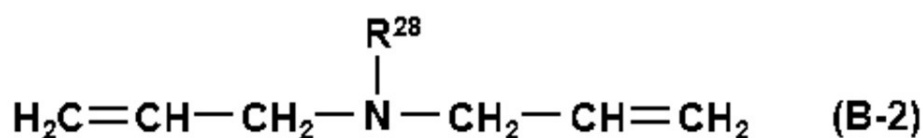
【化 3】



20

(式中、 $R^{25}$  は水素原子又はメチル基を表し、 $R^{26}$  は炭素数 1 ~ 4 のアルキレン基又はヒドロキシアルキレン基を表し、 $R^{27}$  は同一であっても相異なってもよく、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはヒドロキシアルキル基又は炭素数 2 ~ 4 のアルケニル基若しくはヒドロキシアルケニル基を表し、 $-Z-$  は  $-O-$  又は  $-N(H)-$  を表す。)

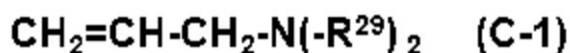
【化 4】



30

(式中、 $R^{28}$  は、水素原子、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはヒドロキシアルキル基又は炭素数 2 ~ 4 のアルケニル基若しくはヒドロキシアルケニル基を表す。)

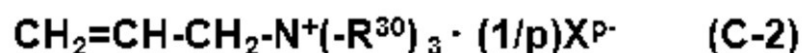
【化 5】



40

(式中、 $R^{29}$  は同一であっても相異なってもよく、水素原子、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはヒドロキシアルキル基又は炭素数 2 ~ 4 のアルケニル基若しくはヒドロキシアルケニル基を表す。)

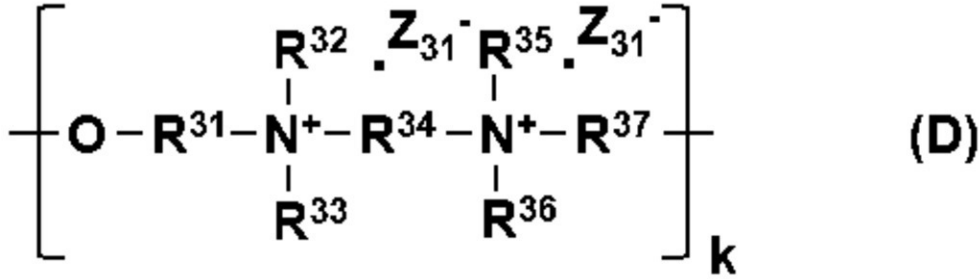
【化 6】



(式中、 $R^{30}$  は同一であっても相異なってもよく、水素原子、炭素数 1 ~ 4 のアルキル基若しくはヒドロキシアルキル基又は炭素数 2 ~ 4 のアルケニル基若しくはヒドロキシアルケニル基を表し、 $X^{p-}$  は  $p$  価のアニオンを表し、 $p$  は任意の自然数である。)

50

【化 7】



10

(式中、 $\text{R}^{31}$ は炭素数1～4のアルキレン基であり、 $\text{R}^{32}$ はメチル基又はエチル基であり、 $\text{R}^{33}$ はメチル基又はエチル基であり、 $\text{R}^{34}$ は炭素数3又は4のアルキレン基であり、 $\text{R}^{35}$ はメチル基又はエチル基であり、 $\text{R}^{36}$ はメチル基又はエチル基であり、 $\text{R}^{37}$ は炭素数1～4のアルキレン基であり、 $\text{Z}_{31}$ はハロゲンであり、 $k$ は任意の自然数である。)

【請求項 4】

前記アニオン界面活性剤が、カルボン酸型界面活性剤、スルホン酸型界面活性剤、硫酸エステル型界面活性剤及びリン酸エステル型界面活性剤からなる群より選択される少なくとも1種である、

20

請求項1～3のいずれか1項に記載の製造方法。

【請求項 5】

繊維に窒素を含有するポリマーを接触させること、及び、前記ポリマーを接触させた後で、前記繊維にアニオン界面活性剤を接触させること、を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の製造方法。

30

40

50